

# たかしま

Takashima City  
Public Relations

広報

2024  
令和6年

3 月号  
No.290

## 皆さんの移動を支える 公共交通機関！

市内を走る公共交通機関をもっと便利に、もっと  
お得に利用するための方法をお知らせします！  
本誌2ページからの特集1をご覧ください。

特集1 便利に！お得に！公共交通でおでかけしませんか？ … ②

特集2 誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現を目指して … ④

主な  
内容

・市役所窓口を休日開庁します …………… ⑩

・リサイクル広場を開催します！ …………… ⑩

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます！

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。  
スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

マチイロ

検索

※アプリのダウンロードは無料ですが、  
通信費は利用者のご負担になります。

高島市公式

フェイスブック  
Facebook

インスタグラム  
Instagram

ライン  
LINE

で情報発信中！



こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」・Instagram「takashima\_city #たかP写真館」・LINE「@takashima\_city」【たかP】

イメージキャラクター



# 便利に!お得に! 公共交通でおでかけしませんか?

☎ 都市政策課 ☎ (25) 8571

## 予約乗合タクシーの利用方法

予約乗合タクシーを利用するためには、事前に電話予約が必要です。

### ▼予約方法

利用予定の便の予約締切時刻までに、電話で予約してください。予約締切時刻は、バスの時刻表をご確認ください。



▼予約先 大津第一交通株式会社

☎0120(524)447

現在、市内公共交通として、JR湖西線が南北の移動を支え、路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、市営バスが市内全域を運行し、市民の移動を支えています。

しかし、人口減少などさまざまな理由から、利用者が減り、運賃収入だけでは運行経費がまかなえず、市内全域の移動を支えるために多額の経費を要するなど、課題もあります。

市では、より多くの方に公共交通を利用していただけるよう、また、大切な移動手段として維持するため、利便性の向上に努めています。

今回の特集では、公共交通の便利な仕組みと、お得な利用方法を紹介します。皆さんもぜひ、公共交通を移動手段の選択肢として、シーンに合わせて利用してください。

## お得に利用!

=3

### バス利用促進券

市内バスの朽木線(安曇川駅~朽木学校前)と若江線(近江今津駅~小浜駅)は、乗車距離によって運賃が変わります。しかし、バス利用促進券を使うことで、市内区間はコミュニティバスと同額(大人220円、小人110円)で乗車できます。

### ▼利用方法

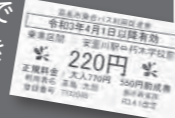
1 市役所(支所)で促進券を申請

2 朽木線または若江線に乗車

3 促進券と運賃を支払う

※バス利用促進券は、市内に住民登録がある方が対象で、都市政策課または各支所で事前申請が必要です。

安曇川駅から朽木学校前まで行く場合、大人1人770円の運賃が220円で利用できます。



## 便利に利用!

### フリー乗降制度

交通量の多い道路など一部区間を除き、運行経路上であれば、停留所以外でも乗降ができます。フリー乗降ができる区間は、バス時刻表の路線図をご確認ください。



路線図はこちらから

### ▼利用方法

1 運行経路上で待機

2 バスなどが見えたら手を挙げて合図して乗車

### 降車時

1 運行経路上で降車したい場所を運転士に伝える

マキノ駅からマキノ高原温泉さらさに行きたいと思ったとき、目的地をマキノ高原温泉さらさにして経路検索すると、バス出発時間、運行ルート、運賃等が簡単に確認でき、スムーズに移動ができます。

### Google マップ等で経路検索

Google マップなどでバス等公共交通を含めた経路を検索できます。なお、予約が必要な路線は不定期運行のため表示されませんのでご注意ください。



引用元: Google 社「Google マップ」

### バス乗継券

市内のバス・乗合タクシー(京都バス比良線を除く)を利用するとき1回に限り無料で乗り継ぐことができます。

### ▼利用方法

1 バス・乗合タクシーに乗車

2 運賃を支払い、乗り継ぎを申し、乗継券を受け取る

3 次のバスなどに乗車し、降車時に運賃の代わりに乗継券を渡す

自宅から鉄道駅までバス・乗合タクシーで移動し、JR湖西線に乗車後、鉄道駅から目的地までバス・乗合タクシーで向かう場合も乗継券を利用できます。





## ■ゆるやかに参加できる“みんなの居場所”

区や自治会で実施されているサロンや通いの場、集会所や商業施設で行われている子ども食堂など、市内にはさまざまな小さな居場所があります。

居場所は、単に行ける場所ではなく、そこに行く役割ができたり、誰かと話せたり、いつも来る人が来ないと心配したりといった関係性が生まれます。

このように、ゆるやかに参加できるみんなの居場所が増えることは、安心して暮らすことができる地域社会の姿に近づくためのひとつの方法です。そんな“みんなの居場所”を2か所ご紹介します。

### みず かぶえ こっこ MIZU café cocco ~駅近のごちゃまぜの居場所~

市が社会福祉法人に委託して運営している社会参加サポートの居場所です。通常営業に加えて、好きなこと（趣味）について話す「テーマ型カフェ」や、精神障がいのある方のリハビリ支援拠点としての活動など、曜日や時間帯を分けて、さまざまな取り組みを行っています。



虹の会  
ホームページ



#### 【この場所への想い】

- 社会福祉法人虹の会 香山 千佳子さん -

あるテーマに特化した「テーマ型カフェ」を一般営業終了後（15時以降）に開催しています。現在、ゲームカフェ、編み物カフェ、鉄道カフェなど約10のテーマ型カフェが開かれています。スタッフ以外に地域のボランティアの方が主体のものもあります。今後は、もっと地域の方々とのコラボした取り組みを増やしていきたいと思っています。

Q これまでやってきて、うれしかったことはありますか？  
A 「長年、自宅に閉じこもりがちだったけど、居場所に通うようになって知り合いができた！」「人と話すのが苦手でしたが、好きなテーマなら自分でも驚くほど話せる！ってことが分かりました」などなど、新たな出会いや新たな自分を発見する場になっている声をお聞きするとうれしくなります。



近年、家族や地域の姿は少しずつ様変わりをしました。かつてテレビドラマやアニメで見かけたような多世代同居は減少し、あらゆる年代において単身世帯や二人世帯の比率が増加しています。また、コロナ禍を経て地域で集う機会や、法事などで親戚と顔を合わす機会も急激に減少しました。その結果、日常的に相談したり、ちょっとした頼ったりすることが難しくなり、問題が深刻化してから行政や支援機関につながる方が増えて

います。市では、こうした地域の実情を踏まえて、子ども、高齢者、障がい者などすべての人々が、地域、暮らし、生きがいをもとに創り、支えあうことができる地域共生社会の実現を目指しています。そのために関係機関とともに「地域生活つむぎあいプロジェクト」と名付けたさまざまな取り組みを進めています。今回は、その取り組みのひとつである「地域づくり支援」について特集します。

問 社会福祉課  
くらし連携支援室  
☎(25) 81200

# 特集2 誰ひとり取り残さない 地域共生社会の実現を目指して

くともに気づき、ともに気遣い、ともにつながる 地域づくり

## ■地域生活つむぎあいプロジェクトが目指す地域社会の姿

“小さな人のつながり”が地域の中にいくつもあすることで「人のつながりによるセーフティネット」のある地域社会を目指しています。セーフティネットには、次のような効果が期待できます。

- 地域の通いの場や当事者の集まりなど「つながる場があることで社会への参加を支援する」こと
- 誰かが抱えているさまざまな問題に「地域でつながっている誰かが気づく」こと
- つながっている誰かが“そういうことなら相談できる窓口があるよ”とか“あの人なら相談に乗ってくれるんじゃないかな”と「背中を押す役割を持つ」こと
- 気負わずに「つながり続けることで、状態の深刻化を防ぐ」こと
- 小さな一歩（取り組み）が「地域にとって大きな意味を持つことを伝えていく」こと



参考 ①地域共生社会ポータルサイト（厚生労働省）、②重層的支援体制整備事業における多機関協働事業の実施状況に関する実態把握及び効果的な実施方法に関する調査研究事業報告書（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

す ぎ き か ふ え  
**SUZAKI CAFE** ~琵琶湖畔に流れる穏やかな時間~

2



令和5年5月5日に『癒しと憩いとわくわくと』をコンセプトにオープンされた誰もが気軽に立ち寄り、ゆる〜く人とつながれる居場所です。店主の退職後に自宅の農作業小屋を改修して、週2回の朝カフェや貸切利用、テーマ型のワークショップなどさまざまなことに楽しみながら取り組まれています。



Instagram

【この場所への想い】

- SUZAKI CAFE 洲崎トモ子さん -

きっかけは、ここから見える琵琶湖の景色や、アウトドア好きが高じて収集したさまざまな道具を独り占めするのももったいないなどの思いでした。始めてからは、自分も含めて普段の生活では色々抱えているものがあるかもしれないけれど、ここにいる間は素になれる、ちょっと心の荷物を下ろせる、そんな居場所になれば良いなと思っています。



Q これまでやってきて、うれしかったことはありますか？

A ここを訪れたお客さん同士が知りあいになったり、友達になって一緒に出かける約束をしたり、思ってもみなかったつながりができていくのを見るとうれしくなります。この小さなカフェが、出会った人同士が「勝手につながれる場所」になれると良いと思います。

■さりげなく、つながっている…そんな地域をつくりませんか

何気ない日々の中で、ふと寂しさを感じた時やいざという時に、誰にも相談できない、頼れないとしたら安心な暮らしとは言えないのではないのでしょうか。

普段はひとりが好きな人や積極的な交流が苦手な人も、その人なりのペースでさりげなくつながれる関係（セーフティネット）があ

る、市ではそのような地域づくりの支援を進めています。

皆さんのさりげない気づきや気遣いが、さまざまな人が地域、暮らし、生きがいをとみに創り、支えあえる地域共生社会づくりにつながります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。